

事業番号 2022 - 金融 - 21 - 0004

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート ( 金融庁 )

事業名	金融仲介機能の強化			担当部局庁	監督局		作成責任者		
事業開始年度	平成17年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	銀行第二課 銀行第二課地域金融企画室		田部 真史 今泉 宣親		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	金融機関の業務の健全かつ適切な運営を確保すること。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>&lt;外部有識者会議開催経費&gt; 担保・保証依存の融資姿勢からの転換、産業・企業の生産性向上を目的とし、金融仲介のあるべき姿等について議論するため、外部有識者会議を開催。</p> <p>&lt;調査業務委託経費&gt; 地域金融機関が事業性評価に基づく融資やコンサルティング機能を発揮できているか、地域金融機関を利用する企業に対しアンケート調査を実施。</p> <p>&lt;Regional Banking Summit開催経費&gt; 地域経済・金融の共通価値の創造に繋げる目的で、地域経済の活性化のために期待される地域金融の役割について議論するため、幅広い関係者が会するサミットを開催。</p> <p>&lt;FA業務委託経費&gt; 金融機能強化法に基づく国の資本参加を実施する場合、予め金融機関等が発行する優先株式等の商品性審査を実施する必要があり、そのためのフィナンシャル・アドバイザー(F/A)業務を外部専門家に委託。</p> <p>&lt;地域金融機関の経営改善支援の効率化に向けた調査研究&gt; 地域金融機関の経営改善支援業務を効率化し、地域の事業者への早期かつ効果的な支援を実施するため、AIを活用した経営改善支援先の早期発見のためのモデル構築や、業種別の着眼点の取りまとめに向けた調査研究を行う。</p>								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
		当初予算	33	32	56		49		
		補正予算	24	-	39		90		
		令和4年度 第2次補正予算	-	-	-		90		
		前年度から繰越し	-	24	16		39		
		翌年度へ繰越し	▲ 24	▲ 16	▲ 39		-		
		予備費等	-	1	-		-		
		計	33	41	72		178		
		執行額	17	25	50				
		執行率 (%)	52%	61%	69%				
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合 (%)	30%	78%	53%						
令和4年度第2次 補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度 第2次補正予算	主な増減理由						
	諸謝金	90							
	計	90							
活動内容 (アクティビティ)	金融機関の仲介機能の発揮状況を把握するための調査や金融仲介のあるべき姿等について議論するための外部有識者会議の開催								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	調査業務委託を通じた実態把握	調査業務委託件数	活動実績 件	1	0	2	-	-	
			当初見込み 件	1	0	2	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	予算執行額/委託件数			単位当たり コスト 百万円	14	0	16.4	15	
				計算式 百万円/件数	14/1	0	33/2	15/1	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								4年度	年度
有効回答数の増加	有効回答を行った企業数	成果実績	%	-	-	36.2	-	-	
		目標値	%	-	-	30	30	-	
		達成度	%	-	-	120.7	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-								
活動内容 (アクティビティ)	Regional Banking Summitの開催								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度
								活動実績	活動見込
多彩なプログラムの提供	プログラム数	活動実績	プログラム	-	23	13	-	-	
		当初見込み	プログラム	-	20	15	10	-	
単位当たり コスト	算出根拠			/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度
	予算執行額/委託件数								活動見込
				単位当たり コスト	百万円	-	24	24	17.7
				計算式	百万円/件数	-	24/1	24/1	17.7/1
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								-	年度
非金融分野の参加率の増加	非金融分野の参加率	成果実績	%	-	-	45	-	-	
		目標値	%	-	-	40	-	-	
		達成度	%	-	-	112.5	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-								
活動内容 (アクティビティ)	国の資本参加を実施する場合において、金融機関等が発行する優先株式等の商品性審査に当たってのFA業務委託								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度
								活動実績	活動見込
FA業務委託	委託件数	活動実績	件	1	0	0	-	-	
		当初見込み	-	-	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度
	予算執行額/委託件数								活動見込
				単位当たり コスト	百万円	3	0	0	-
				計算式	百万円/件数	3/1	0/0	0/0	-
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
								4年度	年度
国の資本参加を受けた金融機関の中小規模事業者等向け貸出金残高の増加率	中小規模事業者等向け貸出金残高の増加率	成果実績	%	2.3	6.9	-	-	-	
		目標値	%	1.8	1.8	1.9	0.6	-	
		達成度	%	100.4	105	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「経営強化計画」の履行状況報告書								
活動内容 (アクティビティ)	AIを活用した地域金融機関の経営改善支援の効率化に向けた調査研究の実施								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度
								活動実績	活動見込
効率的な経営支援に資するモデル開発	研究の過程で構築したモデル数	活動実績	種類	-	-	-	-	-	
		当初見込み	種類	-	-	-	58	-	
単位当たり コスト	算出根拠			/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度
	予算執行額/モデル数								活動見込
				単位当たり コスト	百万円	-	-	-	1.6
				計算式	百万円/種類	-	-	-	94/58

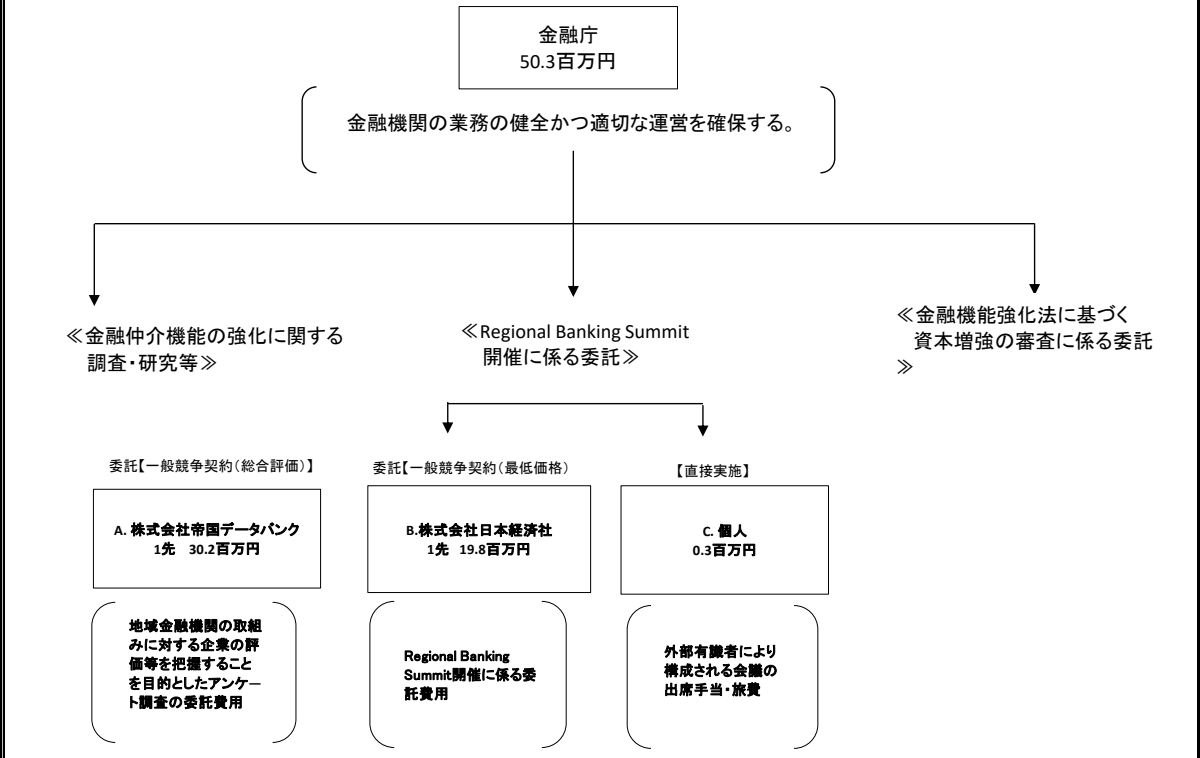
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度
	金融機関がモデルを活用し、経営改善支援を実施	モデル活用に向けた実証事業に参加した金融機関等の数		成果実績 社 目標値 社 達成度 %	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-							
活動内容(アクティビティ)	事業者支援に活用可能な業種別支援の着眼点の作成							
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	業種別支援の着眼点の作成	業種別支援の着眼点にかかるコンテンツ作成件数		活動実績 件 当初見込み 件	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	予算執行額/コンテンツ数			単位当たりコスト 百万円 計算式 百万円/件数	-	-	-	3.1 25/8
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度
	金融機関が業種別支援の着眼点を活用し、経営改善支援を実施	業種別支援の着眼点に関する説明会開催回数		成果実績 回 目標値 回 達成度 %	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-							
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	基本政策 I 金融システムの安定と金融仲介機能の発揮						
	施策	政策評価書 URL	【事前分析表】 <a href="https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202110/R3jizenbunsekihyou.pdf">https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202110/R3jizenbunsekihyou.pdf</a>					【実績評価書】 <a href="https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202208/r3jissekihyouka.pdf">https://www.fsa.go.jp/seisaku/siryou/202208/r3jissekihyouka.pdf</a>
			該当箇所	【事前分析表】P5 【実績評価書】P39				
	取組事項	分野:	-					
(新経済・財政再生計画改革工程表2021)URL:		-						
該当箇所		-						
事業所管部局による点検・改善								
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、金融機関の業務の健全かつ適切な運営の確保を目的とし、我が国における金融システム全般の機能強化を行うために必要であり、国民や社会のニーズを反映していると考えている。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、金融機関の業務の健全かつ適切な運営の確保を目的とし、我が国における金融システム全般の機能強化を行うために必要であり、その性質上、国が実施すべき事業であることから、地方自治体、民間等に委ねることができないと考えられる。			
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は、金融機関の業務の健全かつ適切な運営の確保を目的とし、我が国における金融システム全般の機能強化を行うために必要であり、政策体系の中で優先度の高い事業と考えている。				

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	○Regional Banking Summit開催経費については、支出先の選定にあたって、一般競争入札を実施するなど、競争性の確保・コスト削減に努めている。複数の参考見積の徴求や事前説明会を実施するなどしたものの、業務繁忙等により入札を見送られた結果、一者応札となった。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	○調査業務委託経費については、一般競争入札において、複数の提案書を総合評価で審査しており、支出先の選定は妥当である。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	○FA業務委託経費については、制度上、守秘義務の観点から随意契約によらざるを得ないものの、複数業者から見積書を徴取することにより、競争の確保やコストの削減に努めることとしているが、令和3年度は金融機関等より国の資本参加の要請がなされなかったため、支出していない。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	○国民全体の利益に資するものであり、負担関係は妥当と考えている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	○Regional Banking Summit開催経費については、支出先の選定にあたって、一般競争入札を実施するなど、競争性の確保・コスト削減に努めている。複数の参考見積の徴求や事前説明会を実施するなどしたものの、業務繁忙等により入札を見送られた結果、一者応札となった。 ○調査業務委託経費については、一般競争入札において、複数の提案書を総合評価で審査しており、競争性を確保していることから、単位当たりコスト等の水準は妥当と考えている。 ○FA業務委託経費については、制度上、守秘義務の観点から随意契約によらざるを得ないものの、複数業者から見積書を徴取することにより、競争の確保やコストの削減に努めることとしているが、令和3年度は金融機関等より国の資本参加の要請がなされなかったため、支出していない。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	○Regional Banking Summit開催経費については、会場費や機材・備品費用等、開催に必要な経費のみに使用されており、真に必要なものに限定されている。 ○調査業務委託経費については、金融機関による事業性評価に基づく融資・コンサルティング機能の発揮に係る取組みについて、企業側から直接認識・評価を聞く委託調査のみに使用されており、真に必要なものに限定されている。 ○FA業務委託経費については、金融機関等より国の資本参加要請があったもののみを対象としており、真に必要なものに限定することとしているが、令和3年度は金融機関等より国の資本参加の要請がなされなかったため、支出していない。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	○FA業務委託経費に係る不用率が大きい理由は、金融機関等より国の資本参加要請がなされなかったことによるものである。 また、外部有識者会議開催経費については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、会議の開催を見送ったものである。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や、研究調査に必要なデータ取得のための調整状況等を勘案して繰越しを行ったものであり、理由は妥当である。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	○Regional Banking Summit開催経費は、成果目標を上回る実績となっており、見合ったものとなっている。 ○調査業務委託経費は、成果目標を上回る実績となっており、見合ったものとなっている。	



※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



(※) 令和4年度第二次補正予算で措置された「地域金融機関の経営改善支援の効率化に向けた調査研究」は民間事業者に委託予定

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A. 株式会社帝国データバンク			B. 株式会社日本経済社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	委託費	調査業務等に要する費用	30.2	委託費	会議開催に要する費用	19.8
計		30.2	計		19.8	
	C. 個人			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
		※百万円未満	0.3			
	計		0.3	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社帝国データバンク	7010401018377	金融機関の取組みに対する企業の評価等を把握するためのアンケート調査	30.2	一般競争契約(総合評価)	2	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日本経済社	6010001062000	会議開催業務委託	19.8	一般競争契約(最低価格)	1	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者心札・一者心券又は 競争性のない随意契約となつ た 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
2	個人B	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
3	個人C	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
4	個人D	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
5	個人E	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
6	個人F	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
7	個人G	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
8	個人H	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
9	個人I	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	
10	個人J	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	--	